

第57回日本美術教育学会学術研究大会 (大阪大会)

「はじめにロゴスありき」という言葉がありますが、人類の歴史を振り返るならば「はじめにイメージありき」というのがほんとうでしょう。これは美術教育だけではなく、教育そのものの根幹をなす理念だと思えます。幼児の造形活動は自発的で、主体的なものでなければなりません。上から教えるのではなく、下から育てる美術教育が望まれます。そのためには子どもたちと同じ視点に立つこと、つまりまなざしを共有することが必要です。子どもたちが「造形」という遊びをほんとうに楽しんでやっているのか、その遊びを通じて得られる達成感というものが、どのようなものなのか。それぞれの具体的な現場での教育体験をもとに、これからの美術教育の在り方を見すえて討議していただきたいと思えます。

日本美術教育学会会長 神林恒道

共同討議テーマ

子どもの主体的表現とまなざしの共有 — 幼児の造形活動に学ぶ —

◇ 講演 神林恒道 (日本美術教育学会会長/立命館大学大学院)
感性をひらく教育のために

◇ 開催日時 2008年8月4日(月) 5日(火)
9時00分受付開始 9時30分開会

◇ 会場 大阪大学中之島センター
全体会 メモリアルホール (10F)

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53

- 阪神本線 福島駅より 徒歩9分
- JR東西線 新福島駅より 徒歩9分
- JR環状線 福島駅より 徒歩12分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩10分
- 地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅より 徒歩16分

主催 / 日本美術教育学会

後援 / 大阪府教育委員会

大阪市教育委員会



◆日程・内容

《第1日》8月4日（月）

9:00～9:30	受付	9:30～9:50	開会 挨拶 神林恒道（会長） 上中良子（大会委員長）
9:50～10:30	研究発表Ⅰ PISA型読解力向上としての鑑賞教育の意義 - 「読む」ことの鑑賞教育 - 長瀬拓也 岐阜県・可児市立南帷子小学校		
10:35～11:15	研究発表Ⅱ 造形表現に対する幼児の自信の積み重ねについての一考察 - 幼児にとって"自己表現"とは - 佐々木大輔・中村翔一 広島県・尾道市 スミレ幼稚園		
11:20～12:00	研究発表Ⅲ 構成教育による統合 - 題材を超えた系統性のある美術科指導計画に関する研究 - 藤原智也 岡山大学教育学部附属中学校		
12:00～13:30	昼食・総会・表彰式		
13:30～14:10	研究発表Ⅳ 保育者の「みる力」と「育てる力」 - 島根県保育所（園）・幼稚園造形教育研究会の取り組みから - 松岡宏明 中京女子大学/島根県保育所（園）・幼稚園造形教育研究会		
14:15～14:55	研究発表Ⅴ 美術を通して豊かな生き方を探る 鈴木秀幸 静岡県・磐田市立豊岡中学校		
14:55～15:10	休憩		
15:10～17:40	共同討議 子どもの主体的表現とまなざしの共有 - 幼児の造形活動に学ぶ - 1 基調提案 大橋 功（東京未来大学） 2 共同討議 議長 松岡宏明（中京女子大学）		
18:00～20:00	懇親会 会場 カフェテリア スコラ（大阪大学中之島センター 2階）		

◇ **参加費** 会員 4,000円 一般 4,500円 学生 1,500円

懇親会 5,500円（懇親会は事前割引対象ではありません）

事前申込み割引：大会参加申込み予約をしていただき、大会会費を事前に振り込んでいただく場合は参加費を500円割引いたします。

○ 学会HPからのネット申し込み、もしくは表題に「大阪大会申込み」と記入、E-Mail, FAX, ハガキのいずれかでお申し込みのうえ、下記に会費（事前割引会費および懇親会費）をお振り込みください。

○ 会員の方は、会員番号と氏名のみで結構です。

（一般および学生参加の方は、郵便番号、住所、氏名、所属をご記入ください。）

○ 学会入会希望の方はその旨ご記入ください。会員料金になります。また、事前予約いただいても、事前振り込みがない場合は割引が摘要されませんので、ご注意ください。

※ 割引後の費用は、会員3,500円、一般4,000円、学生1,000円です。

◇ **申し込み先**（大会参加・学会入会）

日本美術教育学会事務局 〒525-0057 滋賀県草津市桜ヶ丘4-12-12 大橋 功

HP:<http://www.aesj.org> FAX 077-564-3265 E-Mail office@aesj.org

◇ **振込先** 大会専用口座 郵便振込 00930-1-96033 口座名称 日本美術教育学会

◇ **大阪大会事務局**

豊中市立新田小学校 石丸新吾

〒565-0085 大阪府豊中市上新田2-19-1

E-Mail osakataikai@aesj.org

8:30~9:00	受 付	
9:00~9:40	分科会1 メモリアル ホール	研究発表VI 美術作品にみる傷みと希望 - 研究展覧会アンケート分析に基づく美術作品鑑賞の心性の検討 - 星聖子 慶應義塾大学グローバルCOE・論理と感性の先端的教育研究拠点
	分科会2 セミナー室 (7F)	研究発表VII 美術教育による市民リテラシー育成についての一考察 - 授業実践「アートの森の散歩道」を事例として - 橋本忠和 兵庫県・姫路市立安富北小学校・兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科
9:50~10:30	分科会1 メモリアル ホール	研究発表VIII 「色彩力」を育成する新たな指導法の試み - 「色の三要素」の再発見 - 小林英樹 愛知県立芸術大学
	分科会2 セミナー室 (7F)	研究発表IX 学校と愛知県美術館の連携による鑑賞教育 - 連携からひろがる鑑賞学習実践を通して - 岡島叔子 愛知県・尾張旭市立東栄小学校
10:40~11:40	講 演 感性をひらく教育のために 神林恒道 日本美術教育学会会長・立命館大学大学院	
11:40~11:50	閉会	
11:50~13:10	第32回InSEA（国際美術教育学会）世界大会 2008 in大阪（大阪国際交流センター） への移動と受付 詳細は4面	
13:15~14:15	InSEA（国際美術教育学会）世界大会 開会式	
14:15~15:45	オープニング基調講演 「視覚文化と社会（仮題）」 ブレイト・ウィルソン（米国・ペンシルバニア州立大学）司会：郭禎祥（台湾・InSEA会長） 「社会に開かれた美術館（仮題）」 林曼麗（台湾・故宫博物院院長）司会：石川誠（京都教育大学）	

きりとりせん

第57回 日本美術教育学会学術研究大会（大阪大会）参加申込書

氏名	会員番号 (封筒宛名の下に表示されています)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 今回から入会を希望します
住所	〒 TEL	
E-mail アドレス		
勤務先	〒 TEL	
懇親会（○をつけてください） 参加・不参加		

- ◇ 会員は会員番号を記入すれば住所・勤務先は省略可です。
- ◇ E-mail アドレスをお持ちの方は、ご記入ください。
- ◇ 学会ホームページ（<http://www.aesj.org>）からフォームでのお申し込みが便利です。事前振込みをお忘れなく。

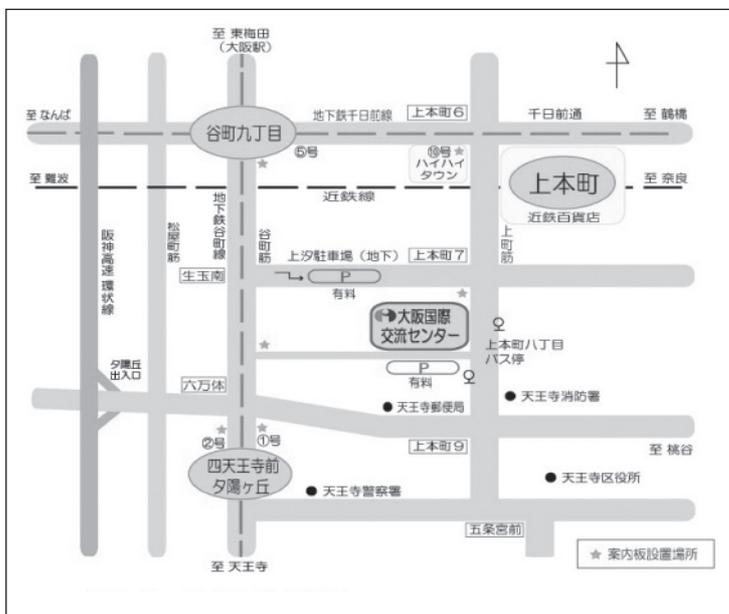
○ 第32回 InSEA世界大会 2008 in大阪（大阪国際交流センター）への移動について

今回の日本美術教育学会学術研究大会大阪大会は、第32回InSEA世界大会 2008 in大阪との共催関係にあり、第2日目の午後には、その開会式と基調講演を日本美術教育学会大阪大会に参加された方が聴講することができます。移動時間と昼食時間が重なり十分な時間が確保されませんが、本案内を参考に、InSEAの会場である大阪国際交流センターへの移動をお願いいたします。

○ 大阪大学中之島センターから移動の場合は以下が便利です。

肥後橋（大阪市営地下鉄四つ橋線・住之江公園行き）
→なんば→（乗り換え）→近鉄難波（近鉄奈良線・近鉄奈良、名古屋方面各電車）→近鉄上本町（10号出口）下車 徒歩8分

※InSEAへの入場は、5日午後の、開会式と基調講演に限られます。それを超えての参加には別途参加申込みが必要です。日本美術教育学会会員(パスワードは既にお知らせ済)、本大会参加者は、共催団体割引が適用されます。その場合は、会員用パスワードが必要です。お申し込みは以下から各自お願いいたします。



InSEA世界大会2008in大阪ホームページ <http://www.convention-j.com/InSEA-WC2008osaka/ja/>

第32回InSEA世界大会2008 in大阪 [こころ+メディア+伝統]

■日本美術教育学会招待企画

ポスターセッション+シンポジウム

美術教育の今とこれから - 「まなざしの共有」を通して考える-

開催 2008年8月6日（水）（InSEA世界大会 2日目）10：00～12：00（於:国際交流センター）

日本美術教育学会では、学校教育を中心とした美術教育に加え、地域社会での市民レベルでの芸術活動支援や、美術館と学校との連携など、多様な美術教育の問題が論議されてきました。今回は本学会会員が取り組んできた優れた実践研究を中心に、その現状と問題点を通観し、これからの美術教育のあり方を提案するポスターセッションとシンポジウムを企画しました。提案者には、日本美術教育学会「美術教育実践研究奨励賞」受賞者を中心に据え、ポスターや資料を通じて視覚的に外国からの参加者にも、日本の美術教育実践の今とその課題をわかりやすく発信します。

基調提案：神林恒道（立命館大学大学院）

パネリスト：高垣満恵（スマレ幼稚園）

宮野恵理子（静岡県立浜松特別支援学校）

人見和宏（大阪市立粟津中学校）

田野 智子（ハート・アート・おかやま）

コーディネータ：大橋 功（東京未来大学）

新関 伸也（滋賀大学）

※本企画への参加は、別途InSEA世界大会への参加登録が必要です。

ご宿泊について

とくに、ご宿泊の案内はしていません。各自でご予約ください。InSEAへの海外からの参加者だけでも数百人が宿泊しますので、早い目の予約をおすすめいたします。